

# 「丹波市地球温暖化対策実行計画」 ∞平成29年度 進捗状況報告（平成28年度実績）∞

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3第10項に基づき、平成25年度に策定した「丹波市地球温暖化対策実行計画」（第二期実行計画）の進捗状況を報告、公表します。この計画では、実行計画の数値目標の達成状況等を把握し、温室効果ガスの排出抑制を行うことで、地球温暖化対策に取り組んでいくことを目的としています。

## ☆計画の概要☆

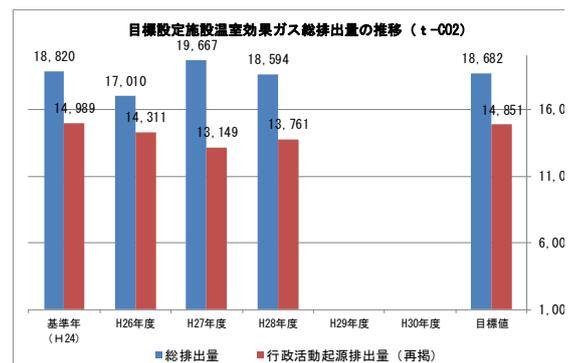
- ◎計画の基準年：平成24年度
- ◎実行計画期間：平成26年度～平成30年度（5年間）
- ◎調査対象施設：庁舎を含めた公共施設

【計画で対象となる温室効果ガス】4種類

- ・CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）、
- ・CH<sub>4</sub>（メタン）、
- ・N<sub>2</sub>O（一酸化二窒素）、
- ・HFC（ハイドロフルオロカーボン類）

◎基準年の温室効果ガス総排出量 **18,820t-CO<sub>2</sub>**  
 ☆行政活動起源 **14,989t-CO<sub>2</sub>**  
 ☆廃プラスチック起源 **3,831t-CO<sub>2</sub>**

## ●温室効果ガス排出量の推移



★削減目標★基準排出量（18,820t-CO<sub>2</sub>）に対し  
**0.7%（138t-CO<sub>2</sub>）削減**

## ☆平成28年度温室効果ガス排出状況☆

◎平成28年度温室効果ガス総排出量 **18,594t-CO<sub>2</sub>**  
 ☆行政活動起源 **13,761t-CO<sub>2</sub>**  
 ☆廃プラスチック起源 **4,833t-CO<sub>2</sub>**

### 平成28年度温室効果ガス総排出量

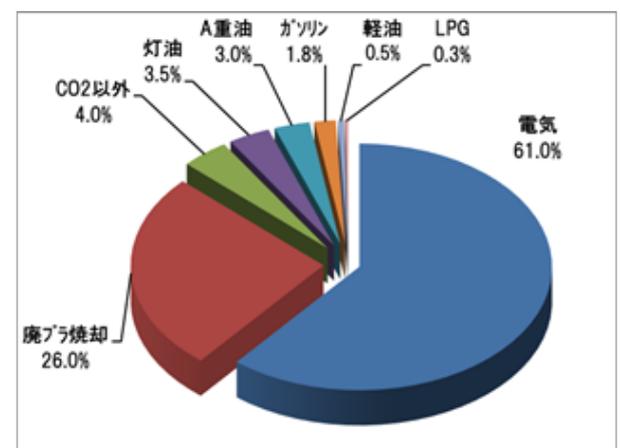
排出量は18,594t-CO<sub>2</sub>となり、基準年の排出量（18,820t-CO<sub>2</sub>）に対して226t-CO<sub>2</sub>（1.2%）減少しました。各項目で見ると、廃プラスチック以外の項目で排出量が減少しています。

### ◎行政活動起源による排出量の減少の理由

各施設で空調の温度設定（冷房28℃、暖房20℃）や、クールビズ等エコスタイルの実施を行いました。設備面では平成28年度から3施設で設備の更新（照明のLED化、省エネ効果の高い空調への更新）を行いました。

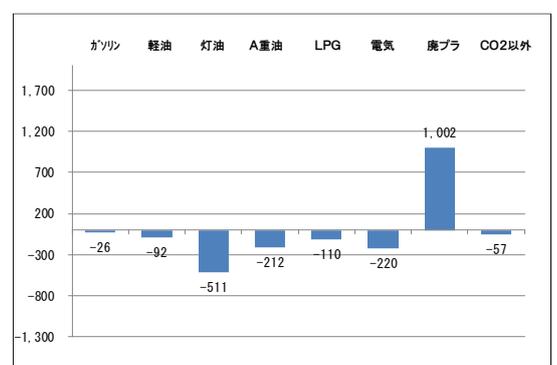
※排出量の計算方法は基準年に準じる。

## ●温室効果ガス排出源構成（H28実績）



## ●排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況（単位：t-CO<sub>2</sub>）

項目	H24年度	平成28年度		増減	
	排出量	排出量	基準年対比		
燃料	ガソリン	357	331	-7.3%	-26
	軽油	184	92	-50.0%	-92
	灯油	1,162	651	-44.0%	-511
	A重油	765	553	-27.7%	-212
	LPG	161	51	-68.3%	-110
電気	11,557	11,337	-1.9%	-220	
廃プラスチック焼却	3,831	4,833	26.2%	1,002	
CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス	803	746	-7.1%	-57	
温室効果ガス全体	18,820	18,594	-1.2%	-226	



## 温室効果ガス削減に向けての今後の課題

行政活動による排出量は4年連続で減少しており、引き続き、照明の消灯などのソフト面、空調機器の更新やLED照明の導入などのハード面の両方で排出量の削減に努めていきます。特にハード面については設備の型式が古く、更新による高い省エネ効果が期待できるため、第三期実行計画に向け調査が必要になります。一方、廃プラスチック起源の排出量は基準年と比較して大幅に増加しており、ごみの分別、リサイクルを徹底して行っていく必要があります。これからも各課で選任しているエコリーダーを中心に、全職員の温室効果ガス削減への意識を高め、数値目標の達成に向かって削減に取り組んでいきます。